【後半戦に突入、激しさを増す B リーグ優勝争い！】

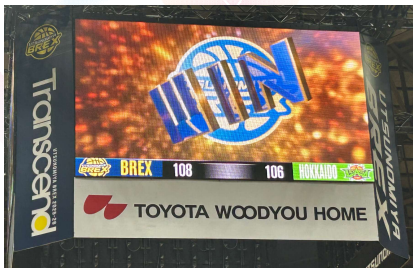
― 宇都宮ブレックスは試練を力に変え、頂点を目指します ―

2025-26 シーズンの B リーグも後半戦に入り、優勝争いはこれまで以上に激しさを増しています。今季は戦力の均衡が進み、どの試合も最後まで油断できない展開が続いています。現在、宇都宮ブレックスは東地区首位（29 勝 10 敗・勝率.744）を維持していますが、背後にはアルバルク東京、千葉ジェッツ、レバンガ北海道が 2 ゲーム差で迫る熾烈な状況です。

■ 1 月：北海道との激闘。延長戦までもつれた熱戦

1 月 24 日・25 日に行われたレバンガ北海道との連戦は、まさに東地区上位同士の意地がぶつかる２試合となりました。

GAME1 は悔しい敗戦となりましたが、強者の条件である修正力で翌 25 日の GAME2 では、延長戦の末に粘り強いディフェンスとニュービル選手の勝負強さで、接戦を制し 108–106 で勝利しました。



この2日間は、守備の課題と修正力、そして勝負所での集中力が改めて問われる戦いとなりました。試合内容として、延長戦を勝ち切ったことは、チームの底力を証明する大きな 1 勝となったのではないかと思います。

■ 2 月：東西首位決戦・長崎ヴェルカ戦での激闘

2 月 7 日・8 日の西地区首位・長崎ヴェルカとの 2 連戦は、リーグでも屈指の注目カードでした。

GAME1 はブレックスが 89–74 で勝利し、圧倒的支配で長崎に一度もリードされず長崎の強力な得点力を封じ込めた試合でした。翌日の GAME2 では、長崎が前日の敗戦から驚異の修正力を見せ、75-105 で苦杯を喫し、東西首位対決は 1 勝 1 敗の痛み分けとなりました。

■ 後半戦へ：求められる“修正力”と“継続力”

ここから後半戦負けられない試合が続きます。我らがブレックスは「守備の強度」「リバウンド」「勝負所での集中力」という強みを発揮しながらも、北海道戦、長崎戦を通し、まだ改善の余地もあると思います。しかし、それこそが優勝を狙うチームが越えるべき“シーズンの壁”と言えるかもしれません。

リーグ全体のレベルが上がる中で、一戦一戦をどれだけ確実に積み重ねられるかが、後半戦に向けた最大の鍵にあるのではないかと思います。

1 月の北海道戦、群馬戦、2 月の長崎戦という大きな山場を越えた我らがブレックスですが、勝敗だけでない見ごたえのある濃い 1 ヶ月でした。

シーズン終盤に向けてさらに激しさを増す B リーグ

我らがブレックスが“王者への道”を突き進んでいけるのか、期待は高まるばかりです。

3月から、また優勝に向けた熱い戦いが再開します。 私たちも熱い声援で選手を応援したいと思います。 がんばれBREX！

※また、先日 B.LEAGUE モテ男 No.1 決定戦 2026 があり、我らの高島選手がエントリーしていましたが、惜しくも 2 位。NO.1 に輝いたのは、千葉ジェッツの瀬川琉久選手でした。残念！！